

医療・バイオ

Field Intelligence Report

Vol. 48 | 2026.06.29 — 07.05 | 分析記事 193件

細胞培養技術 / iPS細胞・再生医療 / 創薬・DDS / バイオセンサー

マーケットモード

85

/ 100 成長加速

AI・自動化が牽引する個別化医療の商業化加速

細胞・遺伝子治療の製造効率向上、AI創薬の臨床進展、ウェアラブル診断の普及が医療パラダイムを革新する。

CGT製造市場規模予測	iPSC市場規模予測	バイオリアクター市場規模予測	デジタルバイオマーカー市場規模予測
630億ドル	53.5億ドル	425.3億ドル	305億ドル
2036年まで	2034年まで	2035年まで	2035年まで
Visiongain (S1-08)	Strategic Revenue Insights Inc. (S2-06)	Precedence Research (S1-52)	MarketGenics (S4-44)

今週の総括

今週の医療・バイオ分野は、AIと自動化技術が細胞・遺伝子治療の製造コスト削減とスケラビリティ向上を加速させ、iPS細胞由来治療薬の臨床応用が拡大する動向が顕著である。創薬分野では、AI設計薬が後期臨床試験に進出し、ADCやRNA治療薬の進化が多様な疾患への治療選択肢を広げている。また、バイオセンサーはウェアラブル化とAI統合により、リアルタイムでの健康モニタリングと早期診断を可能にし、個別化医療の普及を強力に推進。特に、FDAによるCGMのOTC承認は、予防医療へのアクセスを劇的に改善する。日本企業は、精密発酵、iPSC製造、バイオセンサー開発で存在感を示すが、グローバルな製造能力とAI活用でさらなる競争力強化が求められる。

4サブトピック サマリー

サブトピック	主な動向	勢い	主要プレイヤー
細胞培養技術	自動化・連続生産システムとシングルユースバイオリアクターの導入により、CAR-T製造コストが6万ユーロ超削減され、2036年までにCGT製造市場は630億ドル規模へ拡大する見込み。	↑ 上昇	Lonza, Thermo Fisher Scientific, GEA, NTHRYS
iPS細胞・再生医療	iPSC由来CAR-T/NK細胞療法が固形腫瘍・自己免疫疾患へ適用拡大し、FDA RMAT指定が2025年に過去最高48件を記録。中国では固形腫瘍CAR-Tが世界初承認された。	↑ 上昇	Vertex Pharmaceuticals, UniXell Biotechnology, CARsgen Therapeutics, Fate Therapeutics
創薬・DDS	AI設計薬が初の第II相臨床試験に進み、PROTAC乳がん治療薬がFDA承認。経口GLP-1受容体作動薬の承認とADCの適用拡大が治療選択肢を多様化する。	↑ 上昇	Insilico Medicine, Eli Lilly, Arvinas, Pfizer

バイオセンサー	FDAがDexcom Steloを初のOTC CGMとして小児に承認し、ウェアラブルセンサーとAI統合によるリアルタイム健康モニタリングが普及。デジタルバイオマーカー市場は2035年までに305億ドルへ成長予測。	↑ 上昇	Dexcom、Abbott、NTHRYS Biotech Labs、Trinity Biotech
---------	--	------	---

今週の注目トレンド（全5件）

TR-01 HIGH 分野横断

AI・MLによる医療バリューチェーン変革

AIと機械学習が創薬から製造、診断まで医療プロセス全体を加速し、効率と精度を劇的に向上させる。

AIと機械学習は、創薬の初期段階から臨床開発、バイオプロセス最適化、診断、ウェアラブルデバイスまで、医療バリューチェーン全体で応用が拡大している。AI設計薬は初の第II相臨床試験に進み（S3-27, S3-29）、バイオリアクターの代謝モデル予測（S1-26）や精製プロセスの最適化（S1-47）に貢献。診断分野では、AIウェアラブルパッチが不整脈検出で99.6%の精度を達成し（S4-19）、癌の早期発見や喘息診断の近代化を推進（S4-14, S4-36）。この技術融合は、医療コスト削減と患者アウトカム改善の鍵となる。

AIウェアラブルパッチ不整脈検出精度

99.6%

AI設計薬のIND取得期間短縮

18ヶ月

発酵プロセスバッチ不良削減目標

30-40%

▶ Insilico Medicine ▶ Variational AI ▶ NTHRYS Biotech Labs ▶ DeepMind ▶ Penn Medicine

参照: S1-26 S1-47 S3-03 S3-27 S4-19

TR-02 HIGH 細胞培養技術, iPS細胞・再生医療

CGT製造の自動化とスケーラビリティ向上

細胞・遺伝子治療の製造コストと供給課題を克服するため、自動化された閉鎖系システムとシングルユース技術への投資が加速する。

細胞・遺伝子治療（CGT）の製造は、高コストとスケーラビリティの課題に直面しているが、自動化されたクローズドループプラットフォーム、シングルユースバイオリアクター、および連続生産技術の導入により、効率と品質が劇的に向上している（S1-01, S1-03, S1-07, S1-48, S2-01, S2-11, S2-14）。特に、CAR-T製造コストの6万ユーロ超削減（S1-01）や、iPSC由来細胞製造能力の4倍増強（S1-44）といった具体的な成果が見られる。CDMOは、グローバルな拠点拡大とサプライヤーとの関係深化を通じて、製造能力不足とサプライチェーンの脆弱性に対処している（S1-07, S1-19, S1-30）。

CAR-T治療費削減目標

6万ユーロ超

iPSC製造能力増強

4倍

CGT製造市場予測

630億ドル

▶ Lonza ▶ Thermo Fisher Scientific ▶ Cellares ▶ FUJIFILM Biotechnologies ▶ Porton Advanced

参照: S1-01 S1-07 S1-37 S1-44 S2-14

TR-03 MID バイオセンサー, 創薬・DDS

ウェアラブル・POCTによる個別化ヘルスケア

ウェアラブルバイオセンサーとPOCTデバイスがAIと統合され、リアルタイムモニタリングと早期診断を通じて個別化医療を推進する。

ウェアラブルバイオセンサーとポイントオブケア検査（POCT）は、AIおよびデジタルヘルスプラットフォームと統合され、個別化ヘルスケアの推進に不可欠なツールとなっている。FDAがDexcom Steloを初のOTC CGMとして小児に承認したことで（S4-02, S4-03, S4-57）、血糖モニタリングのアクセス性が大幅に向上。超軽量ウェアラブルセンサー「AusculPatch」は自宅での心臓・肺の継続モニタリングを可能にし（S4-10）、AI搭載血圧モニタリング市場は2030年までに45.4億ドルに成長予測される（S4-15）。ナノ材料や機械学習を活用したLFAの感度向上

(S4-18, S4-51) も、感染症診断の効率化に貢献する。

AI搭載血圧モニタリング市場予測	デジタルバイオマーカー市場予測	偽低血糖アラーム削減率
45.4億ドル	305億ドル	95%以上

▶ Dexcom ▶ Abbott ▶ Trinity Biotech ▶ NTHRYS Biotech Labs ▶ UNSW

参照: S4-02 S4-05 S4-10 S4-15 S4-44

TR-04 MID

iPS細胞・再生医療, 創薬・DDS

固形腫瘍治療の新モダリティ開発加速

CAR-T/NK細胞療法、ADC、PROTACといった新モダリティが固形腫瘍治療に適用拡大し、難治性癌への新たな治療選択肢を提供する。

固形腫瘍治療において、CAR-T/NK細胞療法、抗体薬物複合体（ADC）、標的タンパク質分解薬（PROTAC）といった新モダリティの開発が加速している。中国ではClaudin18.2陽性胃腺がん向けCAR-T「satri-cel」が世界初承認され（S2-09, S2-23）、CAR-NK細胞はCAR-Tに勝る安全性と既製化の可能性を示す（S2-12）。ADCは乳がんや神経内分泌癌でFDA承認・迅速指定を受け（S3-39, S3-41, S3-47）、LonzaはADC製造能力を大幅増強（S3-33, S3-46）。初の経口PROTAC薬ペプデグストラントも乳がんFDA承認され（S3-23, S3-25）、難治性固形癌に対する治療パラダイムを変革する可能性が高まっている。

PROTAC乳がん治療薬PFS延長	多発性骨髄腫併用療法リスク低減	ADC製造能力拡張完了予定
2.1ヶ月から5ヶ月	52%	2028年

▶ CARsgen Therapeutics ▶ ADC Therapeutics ▶ Arvinas ▶ Pfizer ▶ Lonza

参照: S2-09 S2-12 S3-23 S3-33 S3-47

TR-05 LOW

創薬・DDS, バイオセンサー

非侵襲的・経口投与技術の進化

患者利便性を高める非侵襲的診断と経口投与型治療薬の開発が進展し、医療アクセスとアドヒアランスを改善する。

患者の利便性と治療アドヒアランスを向上させるため、非侵襲的診断技術と経口投与型治療薬の開発が進んでいる。経口GLP-1受容体作動薬は糖尿病・肥満治療の主流となりつつあり（S3-31, S3-34, S3-48）、非天然アミノ酸を用いた経口ペプチド治療薬の開発も進行中（S3-05）。診断分野では、尿サンプルからの子宮頸がん検出バイオセンサーチップ（S4-29）や、呼気アセトン検出用ポータブルバイオセンサー（S4-41）など、非侵襲的な早期診断技術が注目を集める。これらの技術は、患者負担を軽減し、予防医療と慢性疾患管理の質を高める。

経口GLP-1肥満治療薬体重減少率	子宮頸がんスメアテスト代替目標	FUS-BBBOによるLNP-modRNA脳送達
28%超	5~10年以内	促進

▶ Eli Lilly ▶ Novo Nordisk ▶ Constructive Bio ▶ University of Twente ▶ Dexcom

参照: S3-05 S3-31 S3-34 S4-29 S4-41

マクロ環境・市場指標

指標	フェーズ	現状	評価	詳細
FDA承認・規制動向	加速	22件	2026年上半期に22の新規医薬品を承認、RMAT指定も過去最高48件に達し、革新的治療薬の市場投入が加速。	FDAは2026年上半期に22の新規医薬品を承認し、希少疾患治療に顕著な進歩が見られた。RMAT指定も2025年に過去最高の48件を記録し、細胞・遺伝子治療パイプラインの成熟と規制当局の迅速審査が市場投入を加速させている。
AI/MLの医療応用拡大	普及期	広範	創薬、バイオプロセス最適化、診断、ウェアラブルデバイスにAI/MLが統合され、効率と精度を向上。	AIと機械学習は、創薬の初期段階から臨床開発、バイオプロセス最適化、診断、ウェアラブルデバイスまで、医療バリューチェーン全体で応用が拡大。特にAI設計薬の臨床進展と診断精度向上への貢献が顕著である。
バイオフーマM&A;活動	活発化	50件超	2026年上半期に50件以上の取引が成立し、大手製薬企業が革新技術と後期パイプラインを獲得。	2026年上半期にバイオ医薬品業界のM&A;活動が大幅に加速し、Eli Lillyが250億ドル超を投じるなど、大手製薬企業が特許切れや収益圧力に対応するため、がん、希少疾患、細胞・遺伝子治療分野での買収を強化している。
CDMO市場の戦略的進化	専門化	高需要	モダリティ専門知識とエンドツーエンド統合が重視され、製造能力不足とサプライチェーン脆弱性に対応。	細胞・遺伝子治療を含む次世代バイオ医薬品の製造において、CDMOは単なるコスト削減からモダリティ専門知識とエンドツーエンド統合を重視する戦略的パートナーシップへと進化。自動化・クローズドシステムへの投資が加速している。

マクロ環境サマリー

今週の医療・バイオ分野は、AIと自動化技術が全サブトピックを横断する共通メガトレンドとして、研究開発から製造、診断、治療に至るまで広範な影響を与えている。特に、細胞・遺伝子治療の製造効率向上とiPS細胞由来治療薬の臨床進展が加速し、FDAの承認件数とRMAT指定が過去最高を記録。創薬分野ではAI設計薬が臨床段階に進み、ADCやRNA治療薬が多様な疾患への治療選択肢を拡大。バイオセンサーはウェアラブル化とAI統合により、リアルタイムモニタリングと早期診断を可能にし、個別化医療の普及を強力に推進している。これらの技術革新は、医療コスト削減と患者アクセス向上に貢献し、業界全体の成長を牽引する。

市場データ: IBB (バイオテック) 週次トレンド

195.70 USD **+4.45%**

細胞・遺伝子治療製造市場規模予測 出典: Visiongain (S1-08)

技術進歩と自動化により市場が急成長

年	前回(億ドル)	今回(億ドル)	増減
2025	250	280	+30
2028	350	390	+40
2031	480	520	+40
2034	580	600	+20
2036	600	630	+30

FDA再生医療先進治療（RMAT）指定件数 2024年 → 2025年: 48件

2025年に過去最高の48件を記録し、CGTパイプラインの成熟と市場加速を示唆（S2-10）。

プレイヤー別行動提案

最終製品メーカーへの行動提案

Original Equipment Manufacturer Vertex Pharmaceuticals, Ionis Pharmaceuticals, Novo Nordisk, Eli Lilly, BMS, CARsgen Therapeutics, UniXell Biotechnology, Fate Therapeutics, Capricor Therapeutics, Dexcom, Abbott

CAR-T/NK細胞療法、ADC、PROTAC、経口GLP-1など新モダリティの臨床開発と市場投入を主導。VertexはCRISPR遺伝子治療CASGEVYを2歳以上小児に拡大承認、Eli Lillyは経口GLP-1のFDA承認を獲得済み。

リスク

- 中国CAR-Tのグローバル展開加速により、固形腫瘍治療市場で競争激化し、市場シェアを失う。
- AI創薬の初期成功率が後期臨床試験で維持できず、開発コスト回収が困難になる。
- CGMのOTC化で価格競争が激化し、収益性が圧迫される。

機会

- iPSC由来細胞療法（2034年市場53.5億ドル）で、パーキンソン病やがん免疫療法向け製品を早期に市場投入する。
- AI創薬プラットフォーム（Insilico Medicine等）との提携を強化し、新規標的発見とリード最適化を加速する。
- ウェアラブルバイオセンサー（2035年市場305億ドル）と連携し、予防医療・慢性疾患管理ソリューションを開発する。

今週のアクション

- 今週中に、中国CARsgen Therapeuticsの固形腫瘍CAR-T「satri-cel」の臨床データ詳細を分析し、自社パイプラインとの競合戦略を策定する。
- 3ヶ月以内に、Insilico MedicineやVariational AIなど主要AI創薬企業との技術提携可能性を評価し、R&D部門との合同ワークショップを計画する。
- Q4 2026までに、DexcomやAbbottとCGMデータ連携に関する協議を開始し、自社治療薬との併用ソリューション開発を検討する。

□ シナリオ：もし中国のCAR-T細胞療法が2027年までに欧米市場へ本格参入した場合、日本の製薬企業は同年Q2までに固形腫瘍向けCAR-Tパイプラインの臨床加速または戦略的提携を締結しておかないと、市場での競争優位性を確立できず、後塵を拝する可能性が高い。今から中国企業の動向を綿密に調査し、提携候補をリストアップすべき。

□ Quick Win：今週中に、FDAの「Manufacturing PreCheck Pilot Program」選定企業リスト（Cellares等）を確認し、次世代製造技術導入による自社CGT製造コスト削減の可能性を評価する。

CDMOへの行動提案

CDMO Lonza, Thermo Fisher Scientific, AGC Biologics, WuXi Biologics, Porton Advanced, ProBio, Cellares, FUJIFILM Biotechnologies, Kincell

細胞・遺伝子治療（CGT）やRNA治療薬の製造需要急増に対応するため、自動化・クローズドシステム、シングルユースバイオリアクターへの投資を加速。LonzaはADC製造能力を2028年までに大幅増強し、FUJIFILM Cellular DynamicsはiPSC製造能力を4倍に拡大済み。

リスク

- 製造技術の急速な進化に対応できず、最新モダリティの受託機会を逸する。
- サプライチェーンの不安定化により、原材料調達が滞り、生産計画に遅延が生じる。
- 規制当局（FDA等）の厳格化するGMP要件に追従できず、承認プロセスが長期化する。

機会

- iPSC由来細胞療法（2034年市場53.5億ドル）向けGMP製造能力を増強し、日系バイオテック企業からの受託を獲得する。
- AI駆動型パイオプロセス最適化技術（NTHRYS等）を導入し、製造効率を30-40%向上させ、競争優位性を確立する。
- RNA治療薬（Codexis等）の酵素的製造技術を習得し、年間30メートルトン超のAPI供給能力を構築する。

今週のアクション

- 今週中に、LonzaやFUJIFILM Biotechnologiesの最新設備投資計画を詳細に分析し、自社の設備拡張戦略に反映させる。
- 3ヶ月以内に、AIバイオプロセス最適化ソリューションを提供するNTHRYS Biotech Labs等と技術提携の可能性を協議し、パイロット導入を検討する。
- Q3 2026までに、FDAの「Manufacturing PreCheck Pilot Program」への参加を検討し、規制当局との早期対話を通じて承認プロセスを円滑化する。

□ シナリオ：もし主要OEMが2027年までに自社でのCGT製造能力を大幅に内製化した場合、日本のCDMOは同年Q1までにモダリティ特化型（例：iPSC由来細胞、ADCペイロード）の高度な専門性とコスト競争力を確立しておかないと、汎用的な受託製造市場での収益性が大幅に低下する可能性が高い。今からニッチな高付加価値領域への集中投資計画を策定すべき。

□ Quick Win：今週中に、シングルユースバイオリアクター市場の最新レポート（GlobeNewswire等）を入手し、自社設備投資における最適なサプライヤー（Thermo Fisher等）を特定する。

テストメーカーへの行動提案

Test & Measurement Equipment Manufacturer Dexcom, Abbott, Trinity Biotech, QuidelOrtho, Aidian, Hyperspectral.ai, Securecell, Gyros Protein Technologies, NTHRYS Biotech Labs

連続血糖モニタリング（CGM）のOTC化と小児適用拡大により市場を牽引。AI統合型ウェアラブルセンサーやPOCTデバイスの開発を加速し、リアルタイム診断と個別化医療の基盤を構築。Hyperspectral.aiはラマン分光法とMLでバイオプロセス監視を強化済み。

リスク

- 競合他社がより安価で高精度なOTC CGMを投入し、市場シェアを奪われる。
- AI診断の規制承認が遅延し、製品の市場投入が阻害される。
- データプライバシーやセキュリティに関する懸念が高まり、ウェアラブルデバイスの普及が停滞する。

機会

- デジタルバイオマーカー市場（2035年市場305億ドル）向けに、AI統合型ウェアラブルセンサーとデータ解析プラットフォームを開発する。
- バイオプロセス分析技術（PAT）市場（2035年バイオリアクター市場425.3億ドルの一部）向けに、リアルタイムモニタリングセンサーとAI予測モデルを供給する。
- 感染症POCT診断（リアルタイムインライン病原体検出市場2026年5.558億ドル）向けに、ナノ材料とMLを活用した高感度ラテラルフローアッセイを開発する。

今週のアクション

- 今週中に、Dexcom SteloのOTC承認に関するFDAガイドラインを詳細に確認し、自社製品の規制戦略に適用する。
- 3ヶ月以内に、AI駆動型診断ソリューションを提供するNTHRYS Biotech LabsやHyperspectral.aiと技術提携の可能性を協議し、共同開発プロジェクトを立ち上げる。
- Q4 2026までに、九州大学亀岡研究室のような学術機関と連携し、低コスト・高精度な次世代バイオセンサーの共同研究を開始する。

□ シナリオ：もし主要スマートウォッチメーカーが2027年までに外部センサーなしで高精度な血糖値測定機能を搭載した場合、日本のCGMメーカーは同年Q1までに自社デバイスの多機能化（例：乳酸、心拍、活動量統合）とAI予測分析を強化しておかないと、市場での競争力を失い、コモディティ化する可能性が高い。今からスマートウォッチ連携戦略と次世代バイオマーカー測定技術の開発を加速すべき。

□ Quick Win：今週中に、MDPIやACS Publicationsなどの学術誌でナノ材料とAIを活用した最新バイオセンサー研究を調査し、自社R&D;の方向性を検討する。

原材料メーカーへの行動提案

Raw Material Manufacturer PepGel, Touchlight Genetics, Oxford Biomedica, Codexis, REPROCELL, Amerigo Scientific, 旭化成

細胞培養培地、ウイルスベクター、合成DNA、ハイドロゲルなどの高機能材料供給で、細胞・遺伝子治療、再生医療、創薬研究を支える。Codexisは酵素的RNA製造で年間30メートルトン超のAPI供給を目指し、旭化成は熱に弱いペプチド・オリゴヌクレオチドAPI製造時間を短縮するFO-MDシステムを導入済み。

■ リスク

- ウイルスベクターや高機能培地の供給不足が深刻化し、CGT製造のボトルネックとなる。
- 競合他社がより低コストで高性能な合成材料を開発し、市場での優位性を失う。
- 精密発酵由来の代替タンパク質が普及し、従来の動物由来材料の需要が減少する。

■ 機会

- iPSC由来細胞療法（2034年市場53.5億ドル）向けに、低免疫原性iPSCや3D細胞培養用ハイドロゲル（PepGel等）を開発・供給する。
- RNA治療薬（Codexis等）の酵素的製造に必要な高純度酵素やヌクレオチドを開発し、年間30メートルトン超のAPI供給を支援する。
- ADCペイロードリンカー（Lonza等）の製造能力拡張に対応し、高活性原薬（HPAPI）中間体を供給する。

■ 今週のアクション

- 今週中に、REPROCELLのStemEditプラットフォームやPepGelのPGmatrix™のような先進的なiPSC関連材料を調査し、自社製品ポートフォリオへの組み込みを検討する。
- 3ヶ月以内に、Codexisのような酵素的RNA製造技術を持つ企業と提携し、次世代RNA治療薬向け原材料の共同開発を開始する。
- Q3 2026までに、LonzaやFUJIFILM BiotechnologiesのCGT製造能力拡張計画を把握し、高機能培地やウイルスベクターの供給契約交渉を開始する。

□ シナリオ：もし主要CDMOが2027年までにウイルスベクターや高機能培地の内製化を加速した場合、日本の原材料メーカーは同年Q1までに差別化された高付加価値材料（例：遺伝子編集iPSC用試薬、非天然アミノ酸）の開発と供給に注力しておかないと、汎用材料市場での価格競争に巻き込まれる可能性が高い。今からニッチトップ戦略を明確化し、R&D投資を集中すべき。

□ Quick Win：今週中に、精密発酵スタートアップ（Aux Labs, Helaina等）の提携動向を調査し、代替タンパク質製造向け培地や酵素の供給機会を探索する。

商社への行動提案

Trading Company 三菱商事, 住友商事, Recordati

バイオ医薬品のグローバルサプライチェーンにおいて、原材料調達、製造設備供給、製品流通を支援。IonisのASO治療薬zilganersenのグローバルライセンス契約（Recordati）のように、製品の国際展開を仲介する役割も担う。

■ リスク

- 地政学的リスクや貿易規制の強化により、グローバルサプライチェーンが寸断され、物流コストが増大する。
- バイオ医薬品メーカーの製造内製化が進み、原材料や設備の仲介需要が減少する。
- 新興市場での規制環境変化に対応できず、事業展開が困難になる。

■ 機会

- 低・中所得国（LMICs）におけるCAR-T細胞療法（PoC製造）の普及を支援し、関連する製造設備や原材料の供給チャネルを確立する。
- 精密発酵由来食品成分（Nestlé等）のグローバル流通網を構築し、持続可能な食品産業の成長を支援する。
- AI創薬プラットフォーム（Insilico Medicine等）が開発した新規医薬品の国際ライセンス取得や、新興市場での販売代理店契約を獲得する。

■ 今週のアクション

- 今週中に、LMICsにおけるCAR-T細胞療法のPoC製造に関するPubMed論文（S1-33, S1-40）を読み込み、関連する設備・材料の市場機会を特定する。

• 3ヶ月以内に、中国のPOCT産業（Hangzhou AllTest Biotech等）のグローバル展開動向を調査し、EU IVDR規制対応を支援するビジネスモデルを検討する。

• Q4 2026までに、AI創薬企業（Insilico Medicine等）のパイプライン進捗をモニタリングし、将来的な製品の国際流通・ライセンス契約の可能性を評価する。

□ シナリオ：もしバイオ医薬品のサプライチェーンが2027年までに地域ブロック化し、特定地域内での調達・製造が義務付けられた場合、日本の商社は同年Q1までに各地域での現地パートナーシップ（製造拠点、物流網）を確立しておかないと、グローバルな事業展開が困難になり、収益源を失う可能性が高い。今から主要地域でのM&A;やJVの可能性を検討すべき。

□ Quick Win：今週中に、中国のデジタルヘルスケア企業POMDOCTORのAI駆動予測ヘルスケアプラットフォーム戦略を分析し、日本市場への導入可能性を検討する。

製造設備メーカーへの行動提案

Manufacturing Equipment Manufacturer Sartorius AG, Repligen, GEA, Hamilton, PAK BioSolutions, Bruker, 日本製鋼所, 芝浦機械

バイオリアクター、自動化システム、精製システム、PATセンサーなどの革新を通じて、細胞・遺伝子治療、精密発酵、バイオ医薬品製造の効率と品質を向上。GEAは精密発酵・細胞培養のパイロットセンターに400万ユーロを投資し、Hamiltonはリアルタイム生細胞密度・CO2センサーを発表済み。

リスク

- シングルユース技術の普及により、従来の大型ステンレス製設備の需要が減少する。
- AI駆動型バイオプロセス制御システムの開発競争が激化し、技術的優位性を失う。
- グローバルなサプライチェーンの混乱により、部品調達が滞り、製品供給に遅延が生じる。

機会

- 世界のバイオリアクター市場（2035年市場425.3億ドル）向けに、AI駆動型適応制御を備えた次世代バイオリアクターを開発・供給する。
- 細胞・遺伝子治療製造市場（2036年市場630億ドル）向けに、自動化されたクローズドシステムと連続生産対応の精製システム（PAK BioSolutions等）を提供する。
- 精密発酵・細胞培養のスケールアップを支援するパイロット施設（GEA等）向けに、50~500リットル規模のバイオリアクターと自動化システムを供給する。

今週のアクション

- 今週中に、GEAの精密発酵・細胞培養パイロットセンター（Sarstedt）の設備構成を詳細に分析し、自社製品の適合性を評価する。
- 3ヶ月以内に、NTHRYS Biotech LabsのようなAIバイオプロセス最適化企業と技術提携を検討し、AI駆動型バイオリアクター制御システムの共同開発を開始する。
- Q4 2026までに、PAK BioSolutionsのGMP精製システム（4倍速）のような連続製造技術を調査し、自社製品ラインナップへの導入可能性を評価する。

□ シナリオ：もし主要CDMOが2027年までに製造プロセスを完全に自動化・デジタルツイン化した上で、設備サプライヤーを数社に集約した場合、日本の製造設備メーカーは同年Q1までにAI統合型スマートファクトリーソリューションの提供能力を確立しておかないと、主要顧客からの受注機会を大幅に失う可能性が高い。今からデジタルツイン技術を持つIT企業との提携を加速すべき。

□ Quick Win：今週中に、Hamilton社のIncyte ArcやCO2NTROLのような最新インラインセンサー技術を調査し、自社バイオリアクター製品への統合可能性を評価する。

インパクトマトリクス (プレイヤー × トレンド)

++ = 大きな追い風 + = 追い風 0 = 中立 - = 逆風 -- = 大きな逆風

プレイヤー	TR-01 HIGH AI ML	TR-02 HIGH CGT製造 自動化	TR-03 MID ウェアラブル POCT	TR-04 MID 固形腫瘍治療 新モダリティ	TR-05 LOW 非侵襲的 経口投与技術
最終製品メーカー	++	++	+	++	++
CDMO	+	++	0	+	0
テストメーカー	++	0	++	0	+
原材料メーカー	+	++	+	+	+
商社	+	+	+	0	+
製造設備メーカー	++	++	+	0	0

今週のタイムライン (10件)

日付	タグ	ヘッドライン	出典
06.25 Wed	バイオセンサー	FDA、Dexcom製Steloを小児向け初のOTC CGMとして承認	HCPLive
06.25 Wed	創薬・DDS	旭化成、熱に弱いペプチド・オリゴヌクレオチドAPI製造時間短縮へ新規FO-MDシステム導入	Asahi Kasei
06.26 Thu	iPS細胞・再生医療	CRISPR、B型肝炎ウイルス排除で初の臨床的証拠、プライム編集が初のヒト臨床試験へ	CRISPR Medicine News
06.29 Mon	細胞培養技術	Lonza、OptiALTO™で高細胞密度培養を実現しバイオ医薬品製造コストを削減	Lonza
06.30 Tue	iPS細胞・再生医療	中国NMPA、固形腫瘍CAR-T「satri-cel」を世界初承認	Fierce Biotech
07.01 Wed	iPS細胞・再生医療	FDA、GVHD向け同種細胞治療TREGZIを承認	RegMedNet
07.01 Wed	細胞培養技術	Lonza、米大手バイオ医薬品企業との提携を拡大し2つの生物学的製剤の商業生産を受託	Lonza
07.02 Thu	iPS細胞・再生医療	Vertex社、CRISPR遺伝子治療薬CASGEVYの2歳以上小児への適応拡大をFDAが承認	Vertex Pharmaceuticals
07.03 Fri	細胞培養技術	GEA、ドイツに400万ユーロ投資し精密発酵・細胞培養のパイロットセンターを開設	FoodBev.com
07.03 Fri	バイオセンサー	NTHRYS Biotech Labs、IoTセンサーとAIで発酵プロセスのバッチ不良を30-40%削減	NTHRYS Biotech Labs

注目企業スポットライト

Dexcom [DEXC] ↑ OTC CGM市場を牽引

FDAがStelo Glucose Biosensor Systemを2歳以上の非インスリン使用者小児向けに初のOTC連続血糖モニタリング（CGM）システムとして承認。これにより、Dexcomは予防医療と広範な患者層へのアクセスを拡大し、市場でのリーダーシップを強化する。再設計されたSteloアプリも7月にリリース予定で、ユーザー体験の向上を目指す。

- OTC CGMの販売チャネルを拡大し、薬局やオンラインストアでのプレゼンスを強化する。
- Apple Watchなどスマートデバイスとの連携をさらに強化し、データエコシステムを構築する。
- 小児向けCGMの教育プログラムを開発し、医療従事者と保護者への普及を促進する。

Insilico Medicine [INSM] ↑ AI創薬の臨床進展

AIによって標的と化学構造の両方が設計された初の薬剤レントセルチブ（特発性肺線維症向け）が第II相臨床試験に進展。標的特定からIND取得まで約18ヶ月という驚異的な速度で開発され、AI創薬の実用化を牽引する。Eli Lillyとの27.5億ドルの提携契約も締結済み。

- レントセルチブの第II相臨床試験データを早期に公開し、AI創薬の有効性を市場にアピールする。
- Eli Lillyとの提携を深化させ、AIプラットフォームを活用した新たなパイプラインを共同開発する。
- AI創薬の成功事例を基に、他の大手製薬企業との戦略的パートナーシップを積極的に模索する。

FUJIFILM Biotechnologies [FUJIY] ↑ iPSC製造能力を4倍増強

米国と欧州で約70億ドル規模の事業拡張プロジェクトを推進し、FUJIFILM Cellular DynamicsはiPSC製造本社を新設、細胞生産能力を約4倍に増強した。AIを活用した技術移転プロセスの自動化にも投資し、iPSCを基盤とした細胞治療薬や研究用細胞の供給体制を強化する。

- 増強されたiPSC製造能力を活かし、日系・グローバルバイオテック企業への受託製造サービスを強化する。
- AIを活用した製造プロセスの自動化技術をさらに発展させ、品質と効率のベンチマークを確立する。
- iPSC由来細胞の多様な研究・治療応用を支援するため、学術機関やスタートアップとの共同研究を推進する。

テクノロジーロードマップ

2026

- ◆ AI創薬の第II相臨床試験結果発表（Insilico Medicine等）
- ◆ FDAによるOTC CGMの小児適用拡大（Dexcom Stelo）
- ◆ 中国NMPAによる固形腫瘍CAR-Tの世界初承認（CARsgen Therapeutics）
- ◆ 精密発酵・細胞培養パイロットセンター稼働（GEA）

2027

- ◆ iPSC由来パーキンソン病治療薬の臨床試験進展（UniXell Biotechnology）
- ◆ PROTAC乳がん治療薬の市場浸透と適応拡大
- ◆ AI統合型ウェアラブルセンサーの多機能化と普及加速
- ◆ CGT製造における連続生産・自動化システムの本格導入

2028

- ◆ LonzaのADCペイロードリンカー製造能力拡張完了
- ◆ 経口GLP-1受容体作動薬が糖尿病・肥満治療の主流に
- ◆ 非侵襲的バイオセンサーによる早期疾患診断の標準化
- ◆ 遺伝子治療の適用範囲が希少疾患からより広範な疾患へ拡大

2029

- ◆ AI設計薬のFDA承認開始（特発性肺線維症レントセルチブ等）
- ◆ iPSC由来「オフザシェルフ」細胞免疫療法の臨床応用拡大
- ◆ ナノ材料とAIを組み合わせた高感度POCT診断の普及
- ◆ 分散型CGT製造モデルの確立とLMICsでのアクセス改善

2030

- ◆ デジタルバイオマーカー市場が305億ドル規模へ成長
- ◆ 同種CAR-NK細胞療法が細胞免疫療法市場の大部分を占める
- ◆ AI搭載血圧モニタリング市場が45.4億ドル規模へ成長
- ◆ 3Dバイオプリンティングオルガノイドの臨床応用拡大

参考文献一覧 (全193件)

ID	タイトル	出典	日付	地域	サブトピック
S1-01	01_欧州バイオテック、CAR-T治療費6万ユーロ超削減へ次世代CGT製造技術を開発	PharmTech	2026-06-30	グローバル	細胞培養技術
S1-02	02_iPSC由来CAR-TNK細胞療法、同種移植の拒絶反応克服へ遺伝子編集戦略を発表	MDPI	2026-06-29	スイス	細胞培養技術
S1-03	03_市場調査レポート アップストリームバイオプロセス機器市場がシングルユース技術革新で成長予測	openPR.com	2026-06-25	グローバル	細胞培養技術
S1-04	04_治療用NK細胞の大規模製造へ、フィーダーフリー培養とサイトカインIL-15が最適化の鍵	Liv Hospital	2026-06-26	トルコ	細胞培養技術
S1-05	05_PepGel、NIHと連携しヒトベース3D細胞培養で動物モデルからの転換を加速	PepGel	2026-06-25	米国	細胞培養技術
S1-06	06_精密発酵スタートアップ、Aux LabsとHelainaがNestléと提携し製造ボトルネックを打開	FoodNavigator-USA	2026-06-25	米国	細胞培養技術
S1-07	07_次世代バイオ医薬品製造を支えるCDMO戦略自動化・クローズドシステムで能力不足を克服	World Pharma Today	2026-06-27	グローバル	細胞培養技術
S1-08	08_Visiongain予測：細胞・遺伝子治療製造市場が2036年までに630億ドル規模へ成長	Visiongain	2026-07-02	グローバル	細胞培養技術
S1-09	09_Cartherics社、iPSC由来NK細胞療法CTH-401で卵巣がん臨床試験のIND申請を計画	Cartherics Pty Ltd	2026-07-01	オーストラリア	細胞培養技術
S1-10	10_食品・飲料・産業バイオプロセス向けPAT：ラマン spektroskopieでリアルタイム発酵監視を実現	Technology Networks	2026-06-30	グローバル	細胞培養技術
S1-11	11_PackGene Biotech、レンチウイルス・mRNA技術で次世代CAR-T細胞開発を加速	PackGene Biotech	2026-06-29	中国	細胞培養技術
S1-12	12_3D細胞培養の新選択肢：Ossiformがハイドロゲルと構造足場プラットフォームを詳説	Ossiform	2026-06-29	デンマーク	細胞培養技術
S1-13	13_精密発酵、植物性食品を補完する機能性成分を提供し産業成長を推進	The Plant Base Mag	2026-06-26	グローバル	細胞培養技術
S1-14	14_Novo NordiskがインドShantha Biologicsとカートリッジ充填・仕上げサービス	The SouthFirst	2026-07-01	インド	細胞培養技術
S1-15	15_Hyperspectral.ai、ラマンケモメトリックスでバイオプロセスにおけるリアルタイムPAT可	Hyperspectral.ai	2026-06-29	米国	細胞培養技術
S1-16	16_Bioneer社、BioSPHEER™ 3Dがんモデルで固形腫瘍の薬効予測精度を向上	Bioneer	2026-06-29	デンマーク	細胞培養技術
S1-17	17_精密発酵が持続可能な食品産業へ：生産コスト・スケールアップ課題克服に注力	MyTeknologia	2026-06-26	グローバル	細胞培養技術
S1-18	18_CDMO SignalがFDA・GMP準拠レンチウイルスベクター製造CDMOのランキングを公開	CDMO Signal	2026-07-03	グローバル	細胞培養技術

ID	タイトル	出典	日付	地域	サブトピック
S1-19	19_バイオプロセスアウトソーシングが価値再定義：モダリティ専門性とエンドツーエンド統合が鍵	Bioprocess Online	2026-07-01	米国	細胞培養技術
S1-20	20_Histocell、800m2のGMP施設でiPSC・MSC細胞製造能力を年間1200バッチへ拡大	REPROCELL	—	スペイン	細胞培養技術
S1-21	21_arXiv、ラマンデータ融合とMLで細胞培養プロセスの予測精度を向上させる新モデル発表	arXiv	2026-06-26	米国	細胞培養技術
S1-22	22_米国自家CAR-T細胞療法プロセス最適化市場：製造効率向上とコスト削減が鍵	Intel Market Research	2026-06-29	米国	細胞培養技術
S1-23	23_Lonza、米大手バイオ医薬品企業との提携を拡大し2つの生物学的製剤の商業生産を受託	Lonza	2026-07-01	スイス	細胞培養技術
S1-24	24_MaxCyteとVectorBuilder、ウイルスフリー遺伝子導入プラットフォームでex vivo	BioProcess International	2026-06-29	米国	細胞培養技術
S1-25	25_細胞療法の高コスト問題、培養フラスコのサイトカイン戦略が核心と指摘	Cell & Gene Therapy Review	2026-06-29	グローバル	細胞培養技術
S1-26	26_NTHRYS、AIバイオリアクター代謝モデルデジタルツインでプロセス予測・最適化を提供	NTHRYS	—	インド	細胞培養技術
S1-27	27_MDPI、IoTセンサーとマルコフ連鎖を用いたデジタルツインでAyrar発酵をリアルタイム最適化	MDPI	2026-07-03	スイス	細胞培養技術
S1-28	28_GEA、ドイツに400万ユーロ投資し精密発酵・細胞培養のパイロットセンターを開設	FoodBev.com	2026-07-03	ドイツ	細胞培養技術
S1-29	29_GEA、ドイツ・Sarstedt新技術センターで精密発酵・細胞培養スケールアップ能力を拡張	PPTI News	2026-07-02	ドイツ	細胞培養技術
S1-30	30_Porton Advanced、250以上のグローバル顧客を擁しATMP向けエンドツーエンドCDMO	Porton Advanced	2026-06-26	中国	細胞培養技術
S1-31	31_Lonza、OptiALTO™で高細胞密度培養を実現しバイオ医薬品製造コストを削減	Lonza	2026-06-29	スイス	細胞培養技術
S1-32	32_市場調査レポート ペプチド・オリゴヌクレオチドCDMO市場が2035年までに成長予測	SNS Insider	2026-06-28	グローバル	細胞培養技術
S1-33	33_低・中所得国におけるCAR-T細胞療法：学術機関によるPoC製造でコストとアクセス改善へ	PubMed	2026-06-29	グローバル	細胞培養技術
S1-34	34_News-Medical.net、自動化とAIでオルガノイドワークフローを拡大し創薬を加速	News-Medical.net	2026-06-29	英国	細胞培養技術
S1-35	35_米国同種CAR-NK細胞療法市場：既製型治療薬が2030年までに市場を席卷、iPSC由来プラットフォーム	Intel Market Research	2026-06-28	米国	細胞培養技術
S1-36	36_REPROCELL、Alvetex®とEZSPHERE™で3D細胞培養製品を強化し創薬の翻訳研究を推	REPROCELL	2026-06-25	日本	細胞培養技術
S1-37	37_世界のシングルユースバイオリアクター市場が急成長、Thermo FisherとAGC Biologi	GlobeNewswire	2026-07-03	グローバル	細胞培養技術
S1-38	38_KELI Therapeuticsが整形外科・腎臓病学・免疫学分野で統合GMP製造プラットフォームを	KELI Therapeutics	—	欧州	細胞培養技術

ID	タイトル	出典	日付	地域	サブトピック
S1-39	39_ProBioのAAV製造技術がUC IrvineとGlyTRの汎がんCAR-Tプログラムを加速、CA	University of California, Irvine	2026-07-02	米国	細胞培養技術
S1-40	40_低・中所得国におけるCAR-T療法アクセス拡大へ：閉鎖型半自動製造システムがコストと複雑性を削減	PubMed	2026-06-29	国際	細胞培養技術
S1-41	41_CAR-T療法の地理的課題：製造プロセスのボトルネックがアクセスを制限、閉鎖系技術とバイオプロセッシング	pharmaphorum	2026-06-26	英国	細胞培養技術
S1-42	42_NTHRYSがデュアル抗原CAR-T製造コスト40%削減を達成、オフザシェルフNK細胞増殖サービスも	NTHRYS	—	国際	細胞培養技術
S1-43	43_PAK BioSolutionsのGMP精製システムが初のヒト臨床試験申請を支援、既存施設より4倍速	FirstWord Pharma	2026-07-01	国際	細胞培養技術
S1-44	44_FUJIFILM Biotechnologies、米国と欧州で70億ドルの拡張を推進、iPSC生産能	Drug Discovery and Development	2026-06-26	米国	細胞培養技術
S1-45	45_第6回iPSC医薬品開発サミットがGMPスケールアップの課題を議論、遺伝子編集安全性とQCフレームワ	BioInsights	2026-06-30	国際	細胞培養技術
S1-46	46_UniXell BiotechnologyがiPSCパーキンソン病治療薬UX-DA003でFDA I	BioInformant	2026-06-30	中国	細胞培養技術
S1-47	47_生物製剤精製をAIと機械学習が変革：レジンス寿命予測と収率向上でモノクローナル抗体製造を最適化	Separation Science	2026-07-02	英国	細胞培養技術
S1-48	48_細胞・遺伝子治療製造、連続生産・自動化バイオリアクターでスケラビリティとコスト削減の課題を克服へ	News-Medical.net	2026-07-01	英国	細胞培養技術
S1-49	49_SNS Insiderが解析：ウイルスベクター製造市場、主要CDMOがAAV・レンチウイルス技術改善	SNS Insider	2026-07-02	インド	細胞培養技術
S1-50	50_自動バイオプロセスでデータ完全性を確保：ミドルウェアがFDA 21 CFR Part 11準拠の監査	Technology Networks	2026-06-26	米国	細胞培養技術
S1-51	51_HyperspectralがリアルタイムPATでバイオプロセス可視化を強化：ラマン分光法とケモメトリ	Hyperspectral (via analytica 2026 presentation)	2026-06-29	不明	細胞培養技術
S1-52	52_Precedence Researchが予測：バイオリアクター市場規模、2035年までに425.3億	Precedence Research	2026-06-26	インド	細胞培養技術
S1-53	53_RNA製造の未来：AIと連続プロセスがIVT効率を向上させ、生産コスト削減と分散型製造を促進	(Industry analysis/expert opinion)	2026-07-02	国際	細胞培養技術
S1-54	54_Securecell、バイオ医薬品向けマルチ属性分析プラットフォーム「APIES」発表：リアルタイム	Securecell	2026-06-30	スイス	細胞培養技術

ID	タイトル	出典	日付	地域	サブトピック
S1-55	55_Gyros Protein Technologies、自動免疫アッセイプラットフォームでバイオ治療薬	Bioprocess International (via Gyros Protein Technologies webcast summary)	2026-06-25	米国	細胞培養技術
S1-56	56_KyooBe Tech、低エネルギー電子線照射 (LEEI) による迅速なワクチン開発手法を発表：分散型	BioSpace	2026-06-30	米国	細胞培養技術
S2-01	01_細胞・遺伝子治療製造の課題克服へ：連続生産と閉鎖型自動化システムが効率と品質を革新	News-Medical.net	2026-07-01	英国	iPS細胞・再生医療
S2-02	02_3Dバイオプリンティングオルガノイド、腫瘍学・再生医療・創薬で臨床応用への道を拓く	Reproductive Biology (Oxford Academic)	2026-06-30	英国	iPS細胞・再生医療
S2-03	03_CRISPR、B型肝炎ウイルス排除で初の臨床的証拠、プライム編集が初のヒト臨床試験へ	CRISPR Medicine News	2026-06-26	米国	iPS細胞・再生医療
S2-04	04_HCA HealthcareがCRISPR遺伝子治療exacelの小児向け進展を発表、鎌状赤血球症	HCA Healthcare	2026-06-29	米国	iPS細胞・再生医療
S2-05	05_FDAがGVHD向け同種細胞治療TREGZIを承認、欧州では先進細胞治療協会が発足	RegMedNet	2026-07-02	英国	iPS細胞・再生医療
S2-06	06_iPSC市場、2034年に53.5億ドルへ急成長：再生医療と創薬が主要牽引力	openPR.com (Strategic Revenue Insights Inc. 発表)	2026-07-02	米国	iPS細胞・再生医療
S2-07	07_FDA RMAT指定、累計162件に到達：ロケット・ファーマシューティカルズとCRISPRセラピューター	BioInformant	2026-06-28	米国	iPS細胞・再生医療
S2-08	08_USC科学者がiPSC由来の「無尽蔵な」免疫細胞前駆体を開発、がん免疫療法を強化へ	ScienceDaily (University of Southern California)	2026-06-29	米国	iPS細胞・再生医療
S2-09	09_中国、固形腫瘍CAR-T「satri-cel」を世界初承認：胃腺がんで臨床的意義を確立	Fierce Biotech	2026-06-30	米国	iPS細胞・再生医療
S2-10	10_FDA RMAT指定が2025年に過去最高48件を記録、CGTパイプラインの成熟と市場加速を示唆	Pharmaceutical Technology	2026-07-01	英国	iPS細胞・再生医療
S2-11	11_欧州バイオテックが次世代CGT製造技術を牽引：自動化・閉鎖型システムが分散型生産を加速	PharmTech.com	2026-06-30	ヨーロッパ	iPS細胞・再生医療
S2-12	12_固形腫瘍CAR-NK細胞療法の展望：CAR-Tに勝る安全性と既製化の可能性	Cell Reports Medicine (via PubMed)	2026-06-25	米国	iPS細胞・再生医療
S2-13	13_カルガリー大学の研究者が固形腫瘍向け「GCAR1」CAR T細胞療法を開発、肉腫・固形がんで有望性	News-Medical.net (University of Calgary発表)	2026-07-03	カナダ	iPS細胞・再生医療

ID	タイトル	出典	日付	地域	サブトピック
S2-14	14_細胞治療処理システム市場、2033年に74.5億ドルへ急成長：自動化と閉鎖型システムが牽引	openPR.com (Verified Market Research 発表)	2026-07-01	米国	iPS細胞・再生医療
S2-15	15_ペン・メディシン、AIフレームワークでCAR T細胞療法向け新規標的GPNMBを発見、固形腫瘍治療を	Penn Medicine	2026-06-25	米国	iPS細胞・再生医療
S2-16	16_エクソソーム臨床試験、2026年に世界で約90件：再生医療・診断バイオマーカー・ドラッグデリバリーで	OmniGenix	2026-06-26	米国	iPS細胞・再生医療
S2-17	17_CAR T細胞療法が自己免疫疾患治療へ拡大：約300例のCD19標的治療で予備データ報告	RheumNow.com	2026-07-01	米国	iPS細胞・再生医療
S2-18	18_Amerigo Scientificが高品質iPSC由来細胞をリリース、生物学研究と細胞治療開発を	24-7PressRelease.com (Amerigo Scientific発表)	2026-06-30	米国	iPS細胞・再生医療
S2-19	19_KATUニュース：山中因子に基づく実験的遺伝子療法が老化細胞を標的に、緑内障で初期臨床試験	KATU News (YouTube)	2026-06-27	米国	iPS細胞・再生医療
S2-20	20_UniXellのiPS細胞由来パーキンソン病治療薬UX-DA003、米国臨床試験のIND承認を取得	Parkinson's News Today	2026-06-26	米国	iPS細胞・再生医療
S2-21	21_Vertex社のCRISPR遺伝子治療薬CASGEVY、2歳以上小児の鎌状赤血球症・βサラセミアでF	Vertex Pharmaceuticals	2026-07-02	米国	iPS細胞・再生医療
S2-22	22_CellaresのCell Shuttleプラットフォーム、FDAの「Manufacturing P	BioSpace	2026-06-30	米国	iPS細胞・再生医療
S2-23	23_中国NMPA、Claudin18.2陽性固形がん向け初のCAR T細胞療法Satri-celを世界で	OncLive	2026-07-02	米国	iPS細胞・再生医療
S2-24	24_A2 BiotherapeuticsのCAR T細胞療法A2B543、進行固形がん向けにFDAファス	OncLive	2026-07-01	米国	iPS細胞・再生医療
S2-25	25_Fate Therapeutics、iPS細胞由来細胞免疫療法パイプラインの進捗を投資家カンファレン	Fate Therapeutics, Inc.	2026-07-01	米国	iPS細胞・再生医療
S2-26	26_FDA、同種HSCTを受ける血液がん患者向け初の制御性T細胞療法Orca-Tを承認、慢性GVHDリス	American Society of Clinical Oncology (ASCO) Post	2026-07-01	米国	iPS細胞・再生医療
S2-27	27_オーストラリア、iCamuno Biotherapeuticsがパーキンソン病向け「ハイポイミュン	News Hub (Australia)	2026-07-01	オーストラリア	iPS細胞・再生医療
S2-28	28_FDA未承認のエクソソーム療法、国内で違法使用に警告：2024年～2026年に6件以上の警告書発行	Medical Spa Locator	2026-06-25	米国	iPS細胞・再生医療
S2-29	29_Capricor Therapeutics、デュシエンヌ型筋ジストロフィー治療薬Deramiocel	GlobeNewswire (via Capricor Therapeutics)	2026-06-26	米国	iPS細胞・再生医療
S2-30	30_バイオフーマM&Aが2026年上半年期に加速：Eli Lillyが250億ドル超を投じ、大手製薬企業	BioPharma Dive	2026-07-02	米国	iPS細胞・再生医療

ID	タイトル	出典	日付	地域	サブトピック
S2-31	31_遺伝子治療分野に戦略的資金が流入：PfizerがCRISPRバイオテックに投資、AstraZeneca	BioPharma Dive	2026-07-03	米国	iPS細胞・再生医療
S2-32	32_FDA製造PreCheckパイロットプログラム、Cellaresを含む7社を選定し細胞治療製造プロセス	RegMedNet	2026-07-02	英国	iPS細胞・再生医療
S3-01	01_Codexisが酵素的RNA製造を推進：商業規模でのスケラビリティと品質を向上させ、年間30メートル	Codexis	2026-06-25	米国	創薬・DDS
S3-02	02_IonisのASO治療薬Tryngolza、重度高トリグリセリド血症に対するFDA適応拡大承認で患者	Fierce Pharma	2026-06-25	米国	創薬・DDS
S3-03	03_Variational AI、AWS上で動作するEnki™プラットフォームで生成AI創薬を加速：多パ	AWS	2026-06-25	カナダ	創薬・DDS
S3-04	04_基盤モデルと生成AIが分子科学を再構築：データ中心型学習で仮想スクリーニング精度と分子生成制御性を向	Curate ND	2026-07-02	米国	創薬・DDS
S3-05	05_Constructive Bio、非天然アミノ酸を用いた経口ペプチド治療薬パイプラインを開発：新しい	Constructive Bio	2026-07-02	不明	創薬・DDS
S3-06	06_BMSの分子グルーMezigdomide併用療法、多発性骨髄腫第3相で病勢進行・死亡リスクを52%減	PMLive	2026-07-01	不明	創薬・DDS
S3-07	07_類上皮性血管内皮腫（EHE）治療における抗体薬物複合体（ADC）の可能性：ASCO 2026での注目	EHE Foundation	2026-06-25	米国	創薬・DDS
S3-08	08_IonisのASO治療薬zilganersen、アレキサンダー病でFDA承認を待つ：主要評価項目達成	BioXconomy	2026-06-25	米国	創薬・DDS
S3-09	09_経口GLP-1受容体作動薬セマグルチドの成功がペプチド創薬に変革：AI設計・非天然アミノ酸・ナノキャ	Bhunia Lab	2026-06-27	不明	創薬・DDS
S3-10	10_AI駆動型プラットフォームJAM、従来のGPCR抗体生成を超える分子結合設計を実現：CXCR7・Cl	Pharma Focus Asia	2026-07-01	不明	創薬・DDS
S3-11	11_McKinseyレポート：生成AIと基盤モデルがバイオ医薬品R&D;ワークフローを根本から変革、分子設	McKinsey	2026-06-29	不明	創薬・DDS
S3-12	12_血液脳関門（BBB）のボトルネック特定：ナノメディスンが膠芽腫治療の脳送達課題を克服する鍵	Neuroscience News	2026-06-26	不明	創薬・DDS
S3-13	13_EAACI 2026：Wave Life SciencesのsiRNA治療薬BW-20805、遺伝性	EMJ Allergy & Immunology	2026-07-01	不明	創薬・DDS
S3-14	14_ADC技術の進化と未来：抗原選択からAI支援設計まで、データ駆動型アプローチが治療パラダイムを変革	MDPI	2026-07-02	不明	創薬・DDS
S3-15	15_興和の選択的PPARαモジュレーター「ペマフィブラート」、原発性胆汁性胆管炎（PBC）治療薬としてF	Morningstar	2026-06-30	日本	創薬・DDS

ID	タイトル	出典	日付	地域	サブトピック
S3-16	16_生成AIと深層学習による分子・材料設計の最前線：研究リストで創薬とマテリアルズ・インフォマティクスを	GitHub	2026-07-01	不明	創薬・DDS
S3-17	17_ニイマン・ピック病C型マウスモデルにおいて集束超音波BBB開通がLNP-modRNAの脳送達を促進す	bioRxiv	2026-07-01	不明	創薬・DDS
S3-18	18_ADC Therapeutics、Zynlontaとglofitamab併用療法の第1b相LOTIS	BioPharm International	2026-06-30	スイス	創薬・DDS
S3-19	19_Helus Pharma™のうつ病治療薬HLP003、第3相試験86%登録完了：FDA画期的新薬指定	PR Newswire	2026-06-26	不明	創薬・DDS
S3-20	20_旭化成の新規正浸透膜蒸留システム、PeptistarのAPI製造施設に導入：熱に弱いペプチド・オリゴ	Asahi Kasei	2026-06-25	日本	創薬・DDS
S3-21	21_Ionis、Recordatiとアレキサンダー病ASO「zilganersen」のグローバルライセンス	Rare Disease Report	2026-06-25	米国	創薬・DDS
S3-22	22_抗体ベースBrainshuttle™技術、BBB透過性を高めRNAベースASOの脳送達を促進：TfR	EMJ	2026-06-30	不明	創薬・DDS
S3-23	23_ArvinasPfizerのPROTAC乳がん治療薬ベプデゲストラント、ESR1変異進行乳がん患者で	Cancer Discovery - AACR Journals	2026-07-02	米国	創薬・DDS
S3-24	24_AI設計薬、DeepMindのAlphaFoldとInsilico Generate社が後期臨床試験に	MedCity News	2026-06-30	米国	創薬・DDS
S3-25	25_標的タンパク質分解の急速な進展：初のFDA承認PROTACと分子糊が「治療不可能」な標的を可能に	MarinBio (Appears to be a scientific review/journal, affiliated with MarinBio, hence using their domain)	2026-06-28	米国	創薬・DDS
S3-26	26_AIが創薬の生物学的探索空間を大幅削減：de novoタンパク質設計とBrukerのデータ基盤が革新	Temple 8	2026-07-02	不明	創薬・DDS
S3-27	27_Insilico MedicineのAI創薬プログラムが加速：標的・構造ともにAIが設計したレントセ	Forever.ai (Appears to be a scientific review/journal)	2026-06-30	不明	創薬・DDS
S3-28	28_遺伝性ATTRアミロイドーシス治療薬パティシラン・イノテルセンが多発性神経障害の進行を停止、次世代s	oneAMYLOIDOSIS voice	2026-06-25	米国	創薬・DDS
S3-29	29_AI創薬の臨床成功率向上に課題：Insilicoのレントセルチブが初のフェーズII進出、AlphaF	MDPI	2026-07-01	スイス	創薬・DDS
S3-30	30_FDAが自閉症関連症状治療薬を承認・治験許可：DeFloriaのAJA001経口液剤が第2相へ、汎用	Barchart.com (via DelveInsight)	2026-07-03	米国	創薬・DDS
S3-31	31_GLP-1受容体作動薬の治療範囲がMASHに拡大：Novo NordiskのWegovyが初のMAS	Drug Discovery Trends	2026-06-29	米国	創薬・DDS

ID	タイトル	出典	日付	地域	サブトピック
S3-32	32_92Bio、白金製剤抵抗性卵巣がん対象FOLR1×CD3二重特異性T細胞エンゲージャーNTB-928	BioPharm International	2026-07-02	米国	創薬・DDS
S3-33	33_Lonza、ADC製造能力を大幅増強：スイスVisp拠点でペイロードリンカー製造能力を拡充し2028	Fierce Pharma	2026-07-01	スイス	創薬・DDS
S3-34	34_経口GLP-1受容体作動薬の台頭：注射剤から錠剤への移行が糖尿病・肥満治療の利便性を変革	Pharmacy Times	2026-06-25	米国	創薬・DDS
S3-35	35_COVID-19 mRNAワクチンが安全性と有効性を包括的に証明、将来のmRNA治療薬の基盤を確立	CIDRAP (Center for Infectious Disease Research and Policy)	2026-06-29	米国	創薬・DDS
S3-36	36_AI創薬、初期臨床試験で有望性示すも真の価値は患者アウトカム次第	MedCity News	2026-07-03	米国	創薬・DDS
S3-37	37_製薬業界のAIブーム、ボトルネックは創薬初期ではなく臨床開発にあり	ProMarket	2026-07-02	米国	創薬・DDS
S3-38	38_光応答性キトサンコートPLGAナノ粒子が後眼部疾患にデキサメタゾンをオンデマンド放出	ACS Omega	2026-07-02	米国	創薬・DDS
S3-39	39_FDA、2026年6月に乳がん・前立腺がんADCなど複数の新規オンコロジー薬を承認	Targeted Oncology	2026-07-01	米国	創薬・DDS
S3-40	40_2026年上半年FDAが22の新規医薬品を承認、希少疾患治療に顕著な進歩	HCPLive	2026-07-01	米国	創薬・DDS
S3-41	41_FDAが2026年5月・6月に転移性神経内分泌癌ADCなど複数のオンコロジー薬を迅速承認指定	Oncology News Central	2026-07-01	米国	創薬・DDS
S3-42	42_FDA、2026年6月に複雑性尿路感染症薬とPTEN欠損前立腺がん併用療法を承認	Urology Times	2026-07-01	米国	創薬・DDS
S3-43	43_最初のAI設計薬、2026-2027年にも承認か：Insilico Medicineの特発性肺線維症	Oncodaily	2026-06-30	米国	創薬・DDS
S3-44	44_オハイオ州立大学、AI活用型治療薬発見・開発・商業化センター「Buckeye BioLaunch」を	The Ohio State University	2026-06-30	米国	創薬・DDS
S3-45	45_ブリティッシュコロンビア大学のレビューがmRNAワクチンの安全性と有効性を再確認、がん治療など多分野	UBC News - The University of British Columbia	2026-06-30	カナダ	創薬・DDS
S3-46	46_ロンザ、スイス・ビーブス拠点にて商業規模ADCペイロードリンカー製造能力を拡張	BioPharma APAC	2026-06-30	スイス	創薬・DDS
S3-47	47_アストラゼネカ第一三共のエンハーツ、EUで初のHER2腫瘍非特異的ADCとして承認	AstraZeneca	2026-06-29	英国	創薬・DDS
S3-48	48_2026年GLP-1アゴニストパイプライン、経口orforglipron承認とレタトルチドの28%超	Drug Discovery News	2026-06-26	米国	創薬・DDS
S4-01	01_ミシガン工科大学、MIPs「合成抗体」でバイオセンシングのコスト・安定性課題を克服し新技術賞を受賞	Michigan Technological University News	2026-06-26	米国	バイオセンサー

ID	タイトル	出典	日付	地域	サブトピック
S4-02	02_FDAがDexcom製Steloを小児（2歳以上、非インスリン使用者）向けに初のOTC連続血糖モニタ	HCPLive	2026-06-26	米国	バイオセンサー
S4-03	03_FDA、2歳以上の非インスリン使用者小児向けに初の市販（OTC）連続血糖モニタリングシステムを承認	European Medical Journal - EMJ	2026-06-25	ヨーロッパ	バイオセンサー
S4-04	04_コンバージェンス誌、アプタマー活用次世代ウェアラブルバイオセンサーによる分子レベルのリアルタイム健康	Convergence	2026-06-30	オランダ	バイオセンサー
S4-05	05_Trinity Biotech社、CGM+ウェアラブルバイオセンサーがAI分析により夜間の偽低血糖ア	Trinity Biotech plc (NASDAQ: TRIB)	2026-07-02	アイルランド	バイオセンサー
S4-06	06_中国のPOCT産業、EU IVDR規制と世界的な感染症流行を背景に「グローバル化の黄金時代」に突入	Hangzhou AllTest Biotech CO.,LTD	2026-06-29	中国	バイオセンサー
S4-07	07_FDA承認の指先穿刺不要血糖測定器、Dexcom Stelo、Abbott Lingo、処方型CGM	Mattioli 1885	2026-06-30	イタリア	バイオセンサー
S4-08	08_大阪大学、CLiBアッセイで細胞ストレス時の希少脂質PI(3,5)P2蓄積をリアルタイム追跡する蛍光	Feed and Figures (Source: Phys.org)	2026-07-02	日本	バイオセンサー
S4-09	09_バイオセンサー市場動向：医療診断、ウェアラブル、バイオテクノロジーの進展を牽引	Biosensors Market Trends	2026-06-30	インド	バイオセンサー
S4-10	10_UNSWがAI統合型の超軽量ウェアラブルセンサー「AuscultPatch」を発表、自宅で心臓・肺の連	ICT&health;	2026-07-02	オーストラリア	バイオセンサー
S4-11	11_Aidian社、小児におけるCRP POCTが抗菌薬適正使用を指導する新エビデンスを提示	Aidian	2026-06-30	フィンランド	バイオセンサー
S4-12	12_AI、デジタルヘルス、遠隔モニタリングが肥満ケアを革新：ウェアラブルとモバイルアプリでリアルタイム介	AI in Digital Health & Remote Monitoring	2026-06-29	インド	バイオセンサー
S4-13	13_GoodRxがCGM主要デバイスを比較：Dexcom G7 10日センサーが2歳以上の小児向け唯一の	GoodRx	2026-07-01	米国	バイオセンサー
S4-14	14_MDPI誌、ナノ材料とAIで強化されたバイオセンサーが喘息診断を近代化：唾液中IL-8等バイオマーカ	MDPI	2026-07-02	スイス	バイオセンサー
S4-15	15_市場調査レポート：AI搭載血圧モニタリング市場、2030年までに45.4億ドル規模に成長予測	GlobeNewswire (via Research and Markets)	2026-07-03	米国	バイオセンサー
S4-16	16_連続乳酸モニタリングがCGMに次ぐ次世代の代謝モニタリングとして注目、ウェアラブルセンサーとAIが牽	After CGM (Diabetes in Control)	2026-07-01	米国	バイオセンサー
S4-17	17_MEDICA誌が救急部門におけるPOCTの重要性を強調：迅速診断データが緊急時の臨床意思決定を強化	MEDICA	2026-07-02	ドイツ	バイオセンサー
S4-18	18_RSC Publishing誌、機械学習を活用したラテラルフローアッセイが感染症POCT診断の感度と	Lab on a Chip (RSC Publishing)	2026-06-30	英国	バイオセンサー

ID	タイトル	出典	日付	地域	サブトピック
S4-19	19_2026年7月のデジタルヘルス動向：AIウェアラブルパッチの不整脈検出精度99.6%、Clair H	Digital Health Trends (Openloop Health blog)	2026-07-02	米国	バイオセンサー
S4-20	20_中国POMDOCTOR社がAI駆動の予測ヘルスケアプラットフォームへ戦略的転換、ウェアラブルとデータ	Stock Titan	2026-07-02	中国	バイオセンサー
S4-21	21_スマートウォッチが血糖値管理を革新：Dexcom G7とFreeStyle LibreがApple	TechRepublic	2026-07-02	米国	バイオセンサー
S4-22	22_ACS Publications、致死性キノコ毒素α-アマニチンを高感度検出する多モード無細胞バイオ	ACS Publications	2026-06-25	米国	バイオセンサー
S4-23	23_MDPI誌、ナノ粒子ベースのバイオセンサーが生物医学診断と環境モニタリングを再定義：病原性核酸の検出	MDPI	2026-06-27	スイス	バイオセンサー
S4-24	24_ACS Applied Nano Materials誌が単原子ナノゼイムのレビューを発表：生体分子・	ACS Applied Nano Materials	2026-06-26	米国	バイオセンサー
S4-25	25_DLGLレポートが食品産業におけるナノセンサーの革新を報告：FluIDect技術によるリアルタイム品質	DLG-Expert report	2026-06-29	ドイツ	バイオセンサー
S4-26	26_ACS Publications、低コストでオープンソースの環境水中の硝酸塩およびアンモニア検出セン	ACS Publications	2026-06-28	米国	バイオセンサー
S4-27	27_DexCom社がSteloグルコースバイオセンサーの適用範囲を非インスリン使用者小児に拡大、アプリも	WealthMagik (via Earnings Stability Report)	2026-06-30	米国	バイオセンサー
S4-28	28_QuidelOrtho社レポート、超迅速分子診断が臨床検査室を変革：呼吸器ウイルス検査のTATを26	How Ultra-Rapid Molecular Diagnostics (QuidelOrtho)	2026-06-30	米国	バイオセンサー
S4-29	29_トゥエンテ大学が子宮頸がんを尿サンプルから高感度検出するバイオセンサーチップを発表：スミアテスト代替	University of Twente	2026-07-01	オランダ	バイオセンサー
S4-30	30_ProPharma社FAQ：IVDの未来を形作るPOCTと診断の小型化、ウェアラブルとAIが牽引	ProPharma	2026-06-25	米国	バイオセンサー
S4-31	31_バイオプロセスにおけるリアルタイムPATセンサー導入、食品・飲料・工業バイオプロセスの効率と品質	LabX Media Group	2026-06-30	米国	バイオセンサー
S4-32	32_バイオプロセス技術、食品生産・環境・持続可能な製造へ応用拡大	LabX Media Group	2026-06-25	米国	バイオセンサー
S4-33	33_大阪大学、ハイスループットCLiBアッセイで生細胞内のシグナル伝達脂質PI(3,5)P2をリアルタイム	EurekAlert! / University of Osaka	2026-07-02	日本	バイオセンサー
S4-34	34_市場調査レポート：リアルタイムインライン病原体検出用バイオセンサー市場、2035年に5.558億ドル	Global Market Insights Inc.	2026-06-30	米国	バイオセンサー

ID	タイトル	出典	日付	地域	サブトピック
S4-35	35_浙江大学、機械学習対応型埋め込み式植物バイオマーカーセンサーを開発し『Nature Communic	AcademicJobs.com	2026-06-27	中国	バイオセンサー
S4-36	36_AIと機械学習が癌の早期発見を革新：マルチオミクスデータ解析で診断精度向上	Research Paper	2026-06-25	国際	バイオセンサー
S4-37	37_NTHRYS Biotech Labs、AI活用CRISPRバイオセンサー診断薬で病原体・多重バイオ	NTHRYS Biotech Labs	2026-07-03	米国	バイオセンサー
S4-38	38_九州大学亀岡研究室、尿酸・グルコース・pHをリアルタイム計測する低コスト・高精度バイオセンサーを開発	九州大学	2026-07-01	日本	バイオセンサー
S4-39	39_ALR Technologies、CGM Medical Shenzhenを買収しCGM製造能力を月	ALR Technologies (Press Release)	2026-06-30	米国	バイオセンサー
S4-40	40_NTHRYS Biotech Labs、AI活用微生物バイオセンサーで食品・環境・製薬分野のリアルタ	NTHRYS Biotech Labs	2026-07-03	米国	バイオセンサー
S4-41	41_グラフェン誘導体ベースバイオセンサー、診断・環境・食品安全で高性能発揮：書誌計量分析	EASI: Ingeniería y Ciencias Aplicadas en la Industria (Journal)	2026-06-26	エクアドル	バイオセンサー
S4-42	42_NTHRYS Biotech Labs、IoTセンサーとAIで発酵プロセスのバッチ不良を30-40%	NTHRYS Biotech Labs	2026-07-03	米国	バイオセンサー
S4-43	43_手頃な価格のセンサー技術が神経科学を民主化：電気化学・光学バイオセンサーによる個別化医療の推進	JATIR (Journal of Academic Trends & Innovative Research)	2026-06-25	国際	バイオセンサー
S4-44	44_市場調査レポート：デジタルバイオマーカー市場、2035年までに305億ドルへ急成長、AIが牽引	openPR.com (citing MarketGenics)	2026-07-02	国際	バイオセンサー
S4-45	45_Hamilton社、Interphexで生細胞密度・CO2をリアルタイム測定する革新的バイオプロセス	BioProcess Insider	2026-06-28	米国	バイオセンサー
S4-46	46_食品中のマイコトキシン迅速検出：金属有機フレームワーク（MOF）駆動型センサーが0.32 pgmLの	ACS Publications	2026-06-25	米国	バイオセンサー
S4-47	47_毛細管診断アッセイの検出限界を改善するソフトウェア駆動型手法、低陽性サンプルを高信頼性で識別	Preprints.org	2026-06-29	国際	バイオセンサー
S4-48	48_フリンドラス大学、AIベースのセンシングソリューションで食品産業の品質管理と安全保証を革新	Flinders University	2026-06-25	オーストラリア	バイオセンサー
S4-49	49_量子強化バイオセンシングシステム、アルツハイマー病・パーキンソン病のバイオマーカーを12.6 fMの	Research Article	2026-07-02	国際	バイオセンサー
S4-50	50_京都大学横川研究室、血管生物学から再生医療までマイクロ生理学的システム（MPS）研究を推進	京都大学	2026-06-26	日本	バイオセンサー

ID	タイトル	出典	日付	地域	サブトピック
S4-51	51_UMass AmherstのYingjie Hang氏、プラスモンナノ粒子とMLを活用した高感度PO	UMass Amherst	2026-06-26	米国	バイオセンサー
S4-52	52_伝統中国医学の近代化：成都中医薬大学のrGOベースLSPR光学バイオセンサーが鍼治療効果を客観評価	MDPI	2026-06-29	スイス	バイオセンサー
S4-53	53_自己給電型インテリジェンスが個別化ヘルスケアを推進：ウェアラブル・埋め込み型センサーの自律的モニタリ	Oxford Academic	2026-06-25	英国	バイオセンサー
S4-54	54_スプリットGFP蛍光バイオセンサー、ER-ゴルジ膜接触のリアルタイム動態を可視化	Research Article	2026-06-30	英国	バイオセンサー
S4-55	55_市場調査レポート：ラボオンチップ消耗品市場、個別化医療とマイクロ流体技術の進歩で急成長	Market Research Report	2026-07-03	国際	バイオセンサー
S4-56	56_市場調査レポート：タンパク質生物試薬市場、バイオセンサー層・接着性改善で2035年まで成長予測	IndexBox	2026-06-30	国際	バイオセンサー
S4-57	57_デックスCOMのStelo、初のOTC CGMとしてFDA承認、アボットFreestyle Libre	CNET	2026-06-29	米国	バイオセンサー

編集後記

AIと自動化が医療の未来を再定義する。

今週の医療・バイオ分野は、AIと自動化技術が研究開発から製造、診断、治療に至るまで、その影響力を広げていることを明確に示した。特に、細胞・遺伝子治療の製造コスト削減とスケラビリティ向上は、自動化された閉鎖系システムとシングルユースバイオリアクターの導入によって加速されている。これにより、これまで高額でアクセスが限られていた先進治療が、より多くの患者に届く可能性が開かれつつある。

創薬分野では、AI設計薬が臨床段階に進出し、抗体薬物複合体（ADC）やRNA治療薬の進化が、難治性固形腫瘍や希少疾患に対する新たな治療選択肢を提供している。このAIによる創薬プロセスの加速は、開発期間の短縮と成功確率の向上に寄与するが、後期臨床試験での実世界有効性の証明が今後の鍵となる。日本企業は、精密発酵やiPSC製造技術で強みを持つが、グローバルなAI創薬エコシステムへの積極的な参画が競争力強化に不可欠である。

診断分野では、ウェアラブルバイオセンサーとAIの統合が、リアルタイムでの健康モニタリングと早期疾患検出を可能にし、個別化医療の普及を強力に推進している。FDAによる連続血糖モニタリング（CGM）のOTC承認は、予防医療へのアクセスを劇的に改善する画期的な動きである。日本は、九州大学のような学術機関が低コスト・高精度バイオセンサー開発で先行しており、この技術を社会実装する機会を捉えるべきだ。

全体として、医療・バイオ分野は、技術革新が規制当局の迅速な承認プロセスと相まって、かつてないスピードで進化している。日本企業は、この変革期において、自社の強みを活かしつつ、AIや自動化といった共通メガトレンドを戦略的に取り込むことで、グローバル市場での存在感を高めることができるだろう。

- ◆ AI創薬の初期成功率が後期臨床試験で維持されるためには、どのようなデータ統合と検証戦略が必要か？
- ◆ 細胞・遺伝子治療の分散型製造モデルが普及する中で、日本のCDMOはどのようなニッチ市場と技術専門性を追求すべきか？
- ◆ ウェアラブルバイオセンサーとAI診断が普及する中で、医療データプライバシーとセキュリティの確保にどう対応すべきか？

Troy Technical Weekly 編集部 編集アシスタント

